

まほろば秦野通信

令和3年5月11日

| | |
|---------------------------------|---|
| タイトル | 【論文掲載】葛葉川の水質が改善 多種類の水生昆虫が復活 |
| When (いつ) | 令和3年3月18日～ |
| Where (どこで) | 神奈川県立生命の星・地球博物館 HP で閲覧できます。 |
| Who (だれが) | <small>てづか まり</small> 手塚 真理 (秦野市くずはの広場指導員) 他2名 (<small>しむらのりよし</small> 司村 宜祥 <small>のざきたかお</small> ・野崎 隆夫) |
| What (なにを) How (どのように) | <p>2019年3月～12月に葛葉緑地内の3地点の水生昆虫相を正確に把握するため、灯火採集による成虫調査を実施しました。</p> <p>その結果、カゲロウ目5種、カワゲラ目6種、トビケラ目29種が確認され、1980年代と比べると、今まで確認できなかった多くの種が採集されました。</p> <p>採集された昆虫の中には、きれいな水質に生息する種類がみられ、葛葉川流域での公共下水道の整備による水質が改善したことが影響していると考えられます。</p> <p>また、葛葉緑地においては、豊富な湧水により水量が安定しており、河川流量の減少や河川流の分断による生息環境への影響が少ないことも分かりました。</p> |
| 過去の実績 | 1980年調査：カゲロウ目1種 1986年調査：カゲロウ目2種、トビケラ目3種 |
| 今後の取り組み | 水質改善がさらに進めば、より豊かな生物相が形成されることが期待されます。今後もさまざまな方法で調査を継続し、生物相の変化の把握や河川の水質保全活動につなげていきます。 |
| ホームページ URL | https://nh.kanagawa-museum.jp/www/contents/1612425324536/index.html |
| 問い合わせ | 環境共生課環境総務担当：大嶋 Tel：0463-82-9618 |